



日本ビジネスシステムズ株式会社（5036）

会社説明

Japan Business Systems, Inc.



目次

▪ 会社紹介	3
▪ ビジネスモデル	7
▪ JBSの強み	11
▪ 2026年9月期 通期連結業績予想	14
▪ 今後の成長に向けた取り組み	18

会社紹介

会社概要

名称 日本ビジネスシステムズ株式会社

本社 東京都港区虎ノ門

設立 1990年10月4日

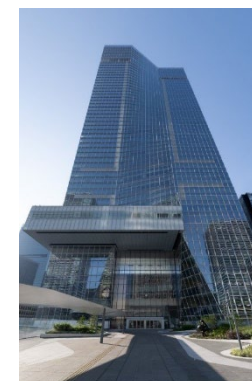
資本金 5億3,963万円

上場市場 東京証券取引所プライム市場
(証券コード：5036)

代表者 代表取締役社長 牧田幸弘

社員数 2,831名 (連結) (2026年3月末)

事業内容 クラウドインテグレーション
クラウドサービス
ライセンス・関連機器リセール



(本社：虎ノ門ヒルズ ステーションタワー)

事業拠点

国内 6 拠点

東京本社
名古屋・大阪・福岡
札幌・沖縄



海外 5 拠点

アメリカ・メキシコ
上海・香港・シンガポール



ミッション・ビジョン・バリュー



Mission | 企業理念

優れたテクノロジーを、親しみやすく

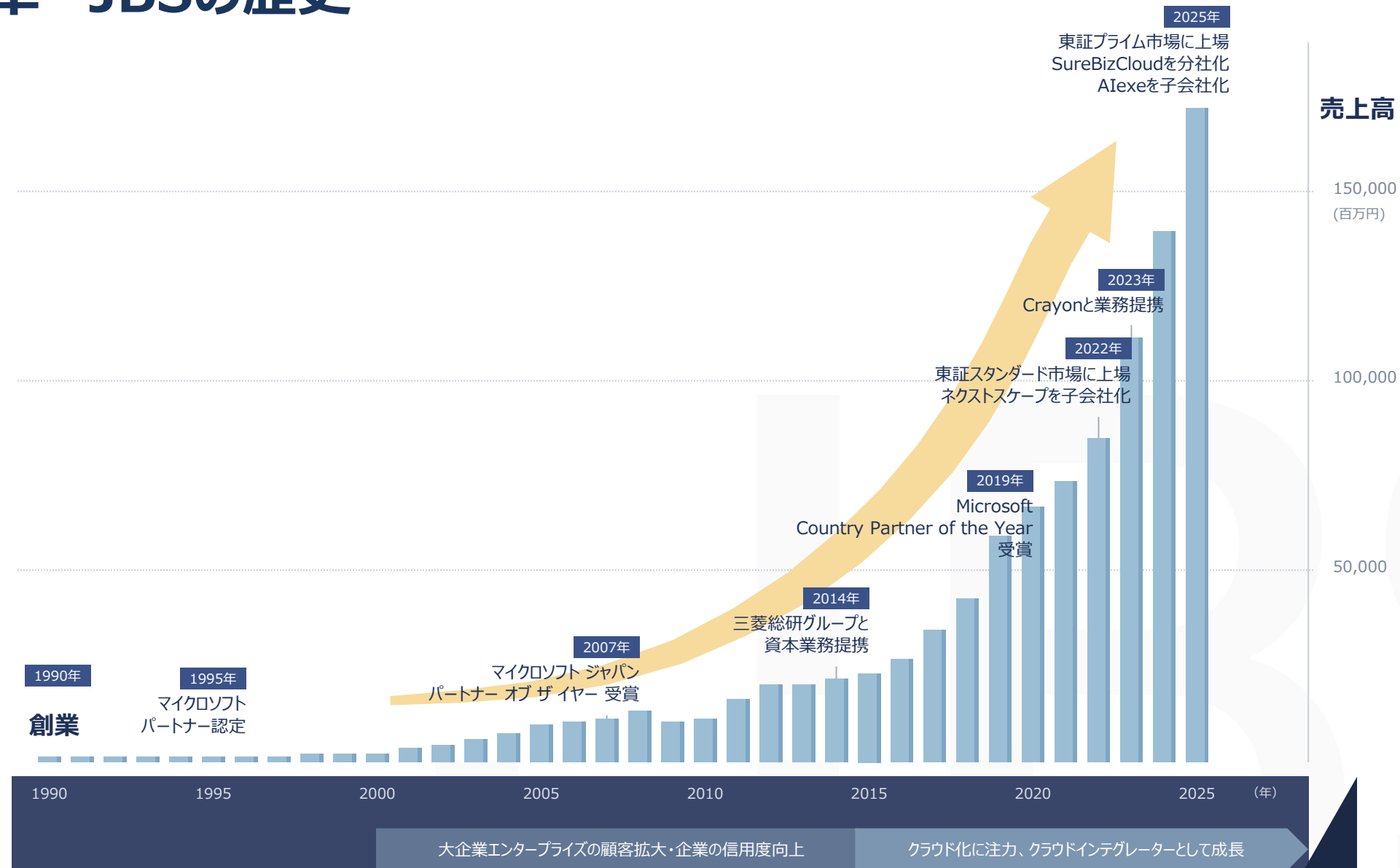
Vision | 目指す姿

社会のデジタル変革をリードする No.1クラウドインテグレーター

Value | 行動指針

Customer First	「お客さまの期待を超える」
Diversity & Inclusion	「一人ひとりの個性を大切に」
Integrity	「誠実かつ、ひたむきに」
Passion for Technology	「情熱を持ってテクノロジーを追求」
Commitment to Growth	「挑戦と成長」

沿革—JBSの歴史

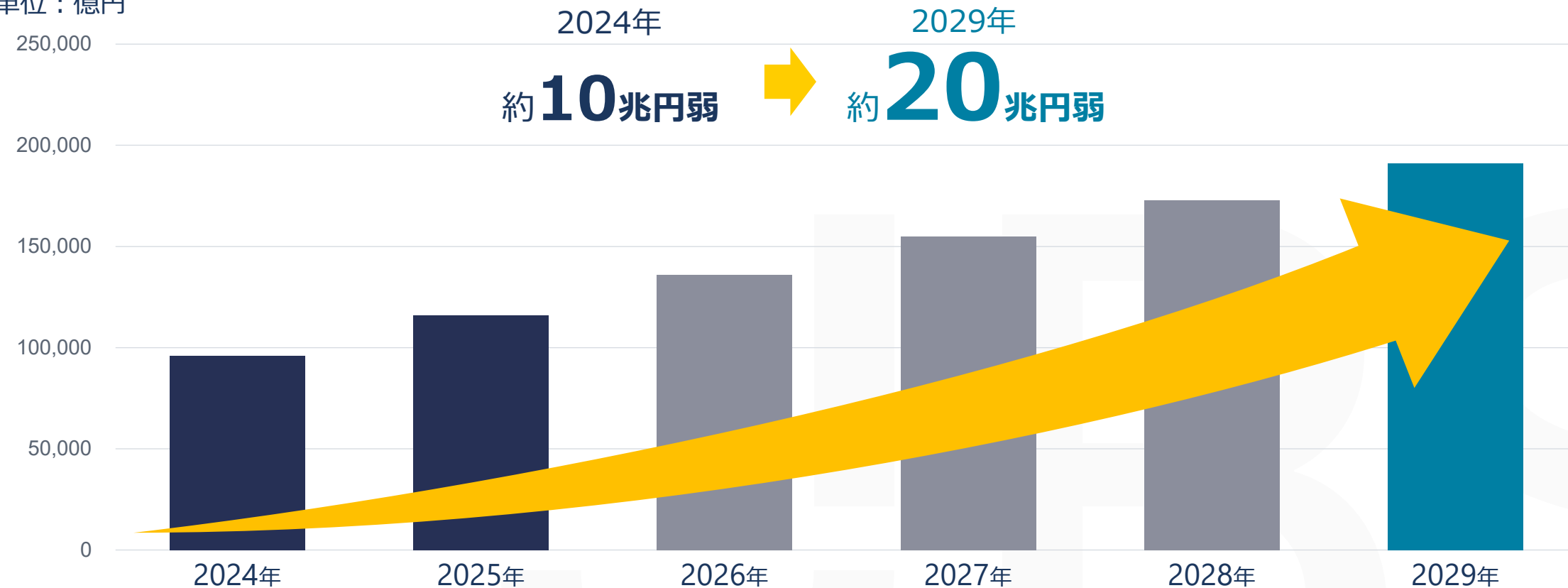


ビジネスモデル

国内クラウド市場の見通し

国内クラウド市場規模の推移*1

単位：億円



出所: IDC Japan「国内クラウド市場予測、2024年～2029年」(2025年)

*1 パブリッククラウド、HPC/ローカルクラウド及びEPC

企業のクラウド活用の拡大

従来の運用（オンプレミス）

自社内に設置・構築した
IT環境



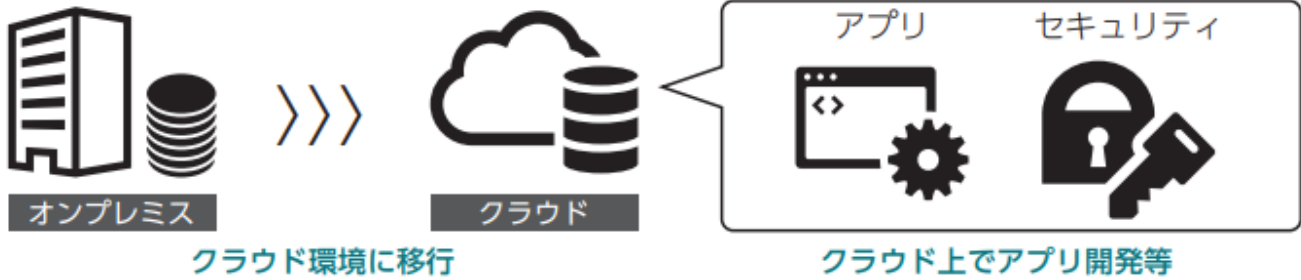
2010年代から急速に普及（クラウド）

サービス事業者が提供する
クラウドサービスのIT環境を利用



JBSは、マイクロソフトクラウドを中心に **豊富な実績** と **人材** で **国内トップクラス**

JBSは何をする会社なのか

事業セグメント	事業内容
クラウド インテグレーション事業 (売上構成比：16%)	 クラウド環境に移行 クラウド上でアプリ開発等 ※
クラウド サービス事業 (売上構成比：13%)	 常駐して技術支援 保守監視・運用 マネージドサービス 教育 ※
ライセンス& プロダクツ事業 (売上構成比：71%)	 Microsoft メーカー 仕入れ 販売 ※

※各事業内容の一例

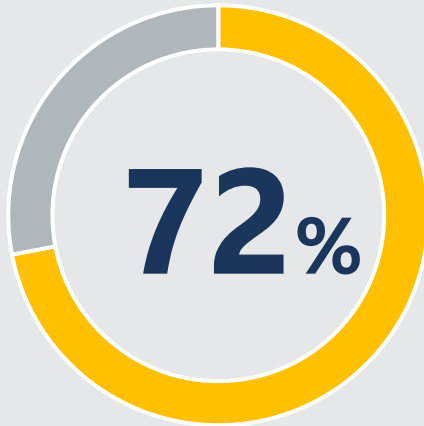


JBSの強み

事業成長の土台となる実績

国内主要エンタープライズ企業との取引実績。
テックリーダーとの強いパートナーシップ

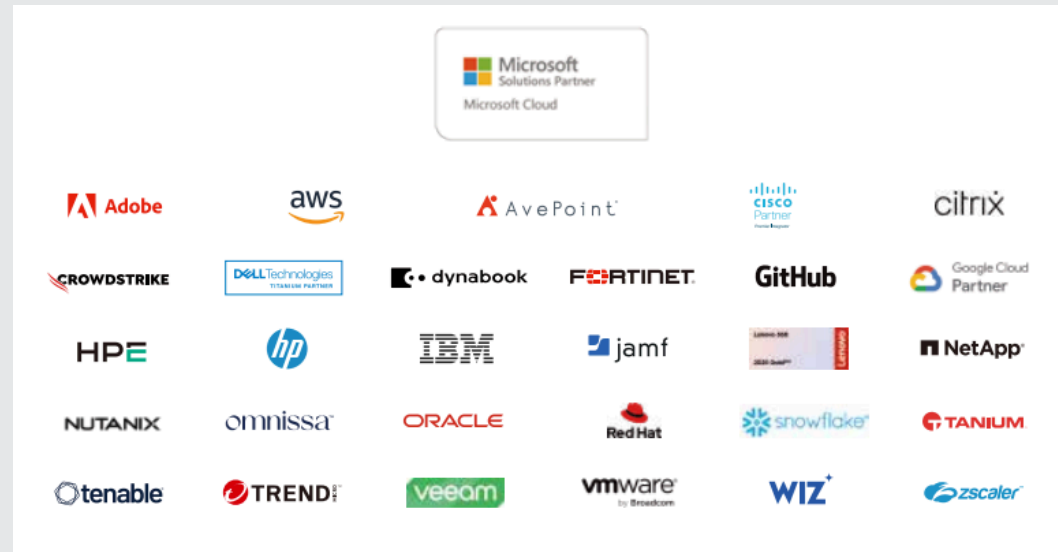
エンタープライズ顧客基盤 ※1



TOPIX100 のうち 72% の企業との取引実績

※1 TOPIX100 企業全体に対するJBSの取引割合（FY25実績）

戦略的パートナーシップ



人的資本経営

事業拡大に伴う人材の確保と育成

採用

新卒採用目標



キャリア採用目標



300名程度/年



働きやすい会社



平均残業時間

8.5 時間/月

(2025年9月期)



有給休暇平均取得日数

14.8 時間/月

(2024年1月-12月)



男性の育休取得率

65.3%

(2025年9月期)

人材が活躍する土壌づくり

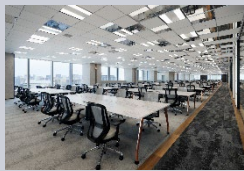


農園型障がい者雇用



JBSトレーニングセンター

働く環境づくり

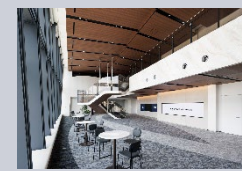


本社 虎ノ門ヒルズステーションタワー



社宅（一例）

コミュニケーションの活性化



本社 Cloud Park



Lucy's Tokyo

2026年 9月期 通期連結業績予想

2026年 9月期 通期連結業績予想

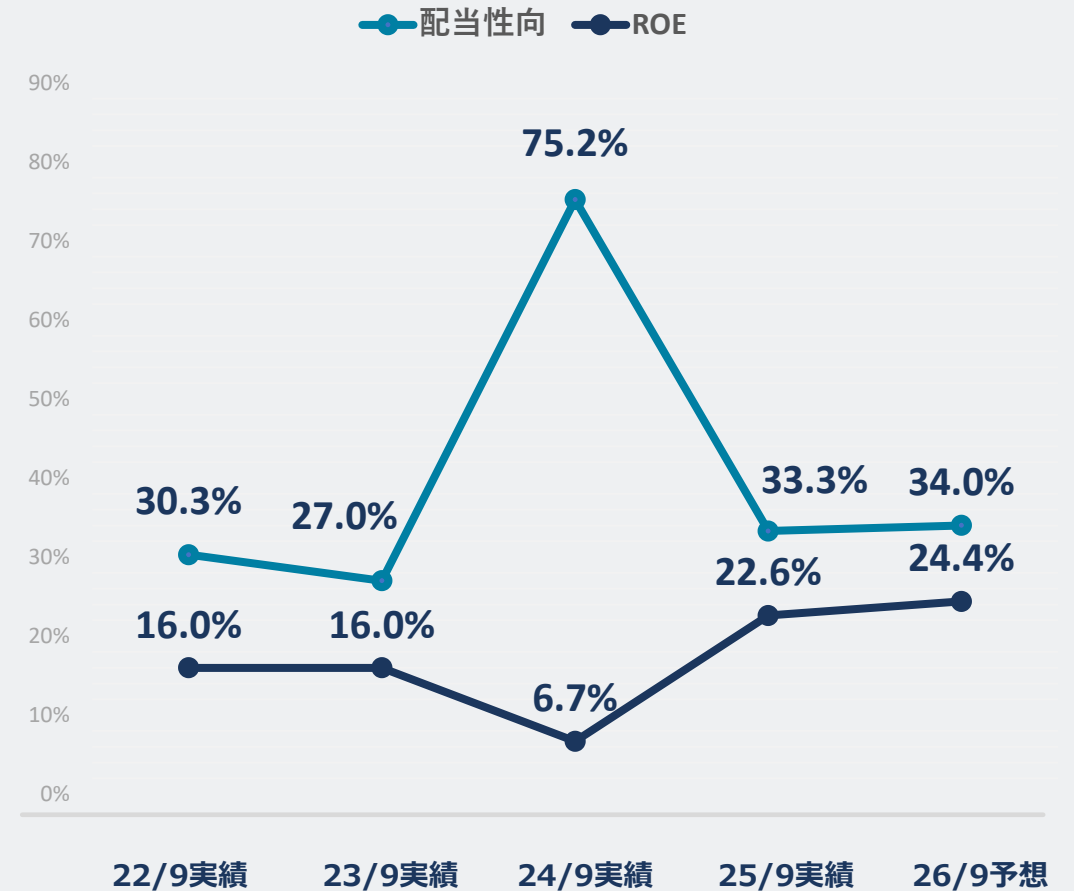
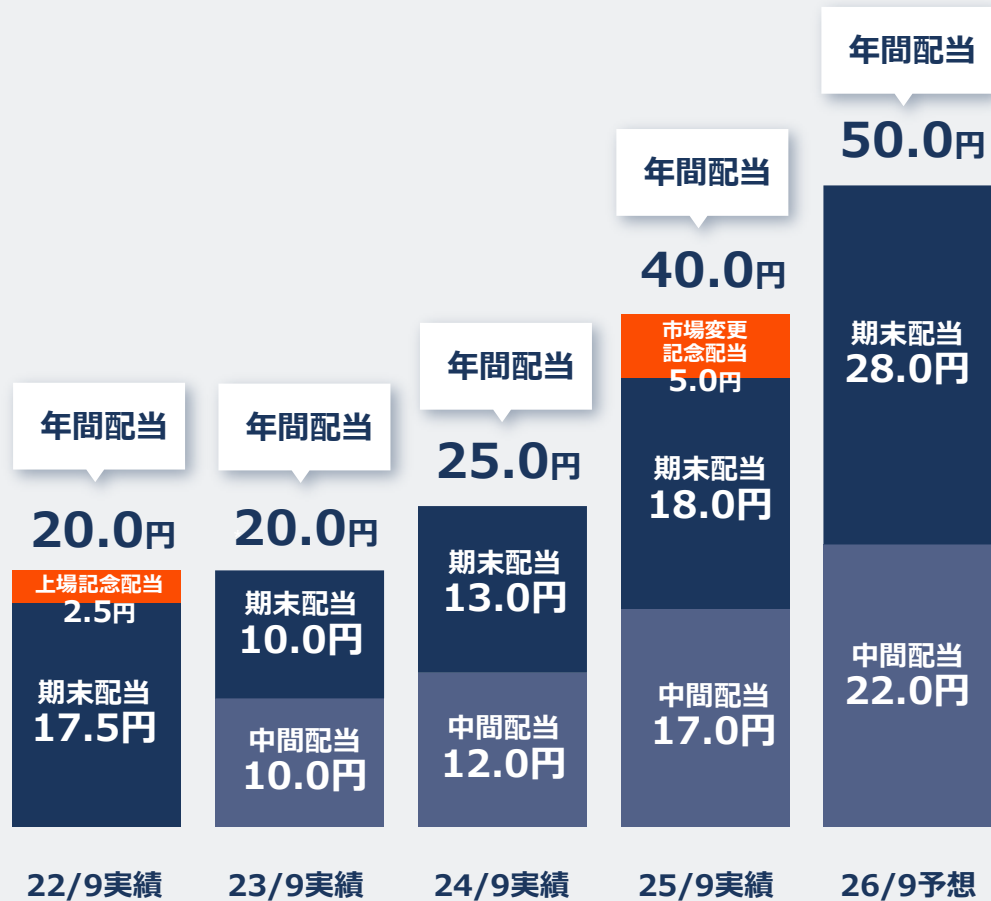
ライセンス&プロダクツ事業が好調に推移し、それに伴いクラウドインテグレーション事業およびクラウドサービス事業も堅調に成長

		2026年 9月期 通期業績予想 修正予想	2025年 9月期 通期業績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	(百万円)	216,500	172,580	43,920	125.4%
売上総利益	(百万円)	21,500	17,863	3,637	120.4%
▶ 売上総利益率	(%)	9.9%	10.4%	△0.4p	-
販管費及び一般管理費	(百万円)	12,400	10,268	2,132	120.8%
営業利益	(百万円)	9,100	7,594	1,506	119.8%
▶ 営業利益率	(%)	4.2%	4.4%	△0.2p	-
営業外損益	(百万円)	△100	△222	122	-
経常利益	(百万円)	9,000	7,372	1,528	122.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	7,000	5,629	1,371	124.3%
EBITDA	(百万円)	10,240	8,748	1,492	117.1%

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及びのれん償却費

配当予想

好調な業績予想を元に、年間配当予想を期初予想の45円から5円増配し、年間配当を50円に引き上げ



* 当社は、2023年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割。
本資料においては、2022年9月期の期首に当該分割が行われたものとして記載。

* 2024年9月期においては、減損損失の計上により、親会社に帰属する当期純利益が期初予想を下回る結果となったものの、配当については期初予想を据え置いたため、一時的に配当性向が高まっている。

株主優待制度のご紹介

400株以上のご保有で、年2回、保有株式数に応じた株主優待ポイントを進呈します

01 対象
400株以上をご保有の株主さま

02 進呈
毎年 3月末日・9月末日 の年2回

03 交換
約5,000種の商品から選べる（1ポイント≒1円）

株主優待だけで

年間で最大 **100,000円相当**（4,000株保有の場合）

※ 優待50,000ポイント（1ポイント≒1円）× 年2回

JBS

日本ビジネスシステムズ・プレミアム優待倶楽部

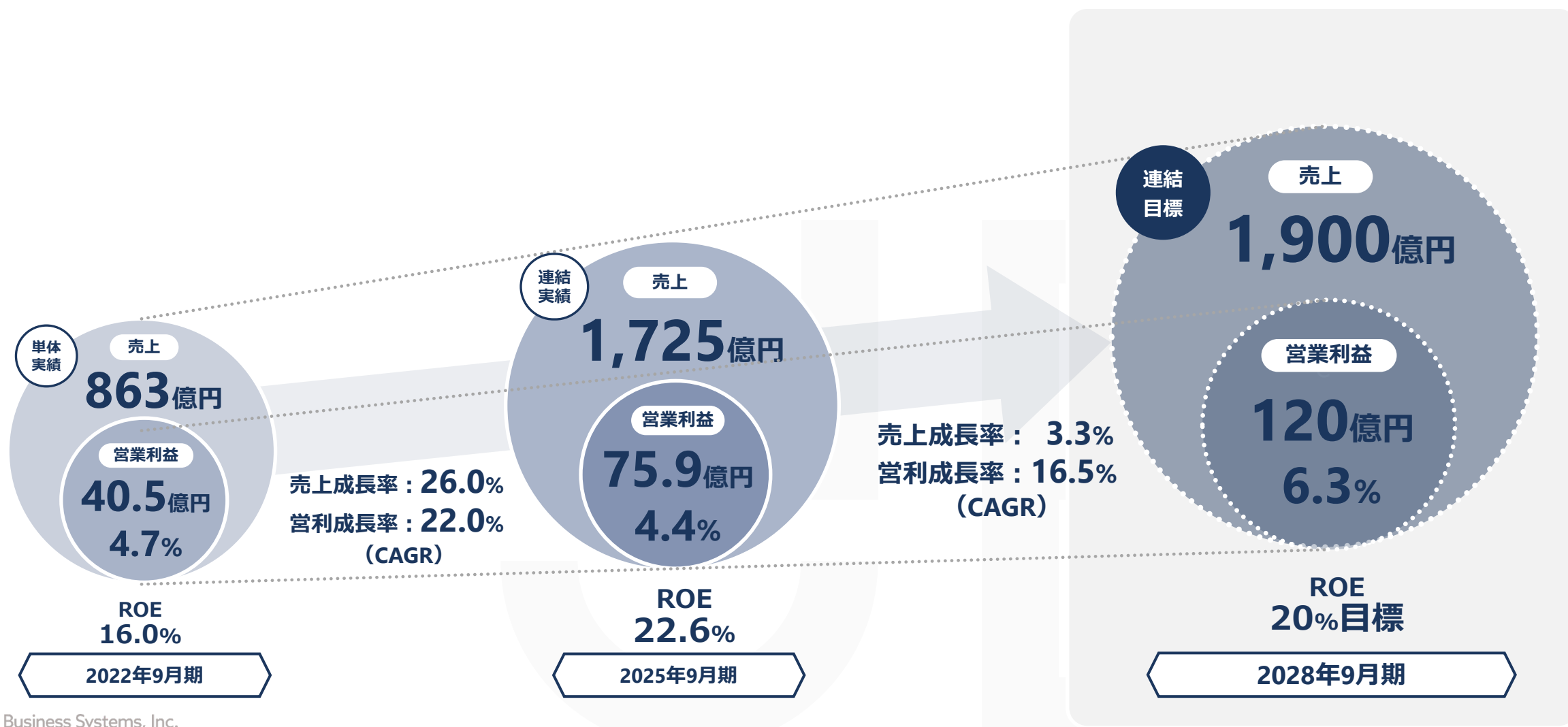
Premium
プレミアム優待倶楽部

保有株式数	進呈ポイント数	
	3月末	9月末
400株～499株	1,500 point	1,500 point
500株～599株	2,500 point	2,500 point
600株～699株	3,000 point	3,000 point
700株～799株	4,000 point	4,000 point
800株～899株	6,000 point	6,000 point
900株～999株	10,000 point	10,000 point
1,000株～1,999株	12,500 point	12,500 point
2,000株～2,999株	30,000 point	30,000 point
3,000株～3,999株	45,000 point	45,000 point
4,000株以上	50,000 point	50,000 point

今後の成長に向けた取り組み

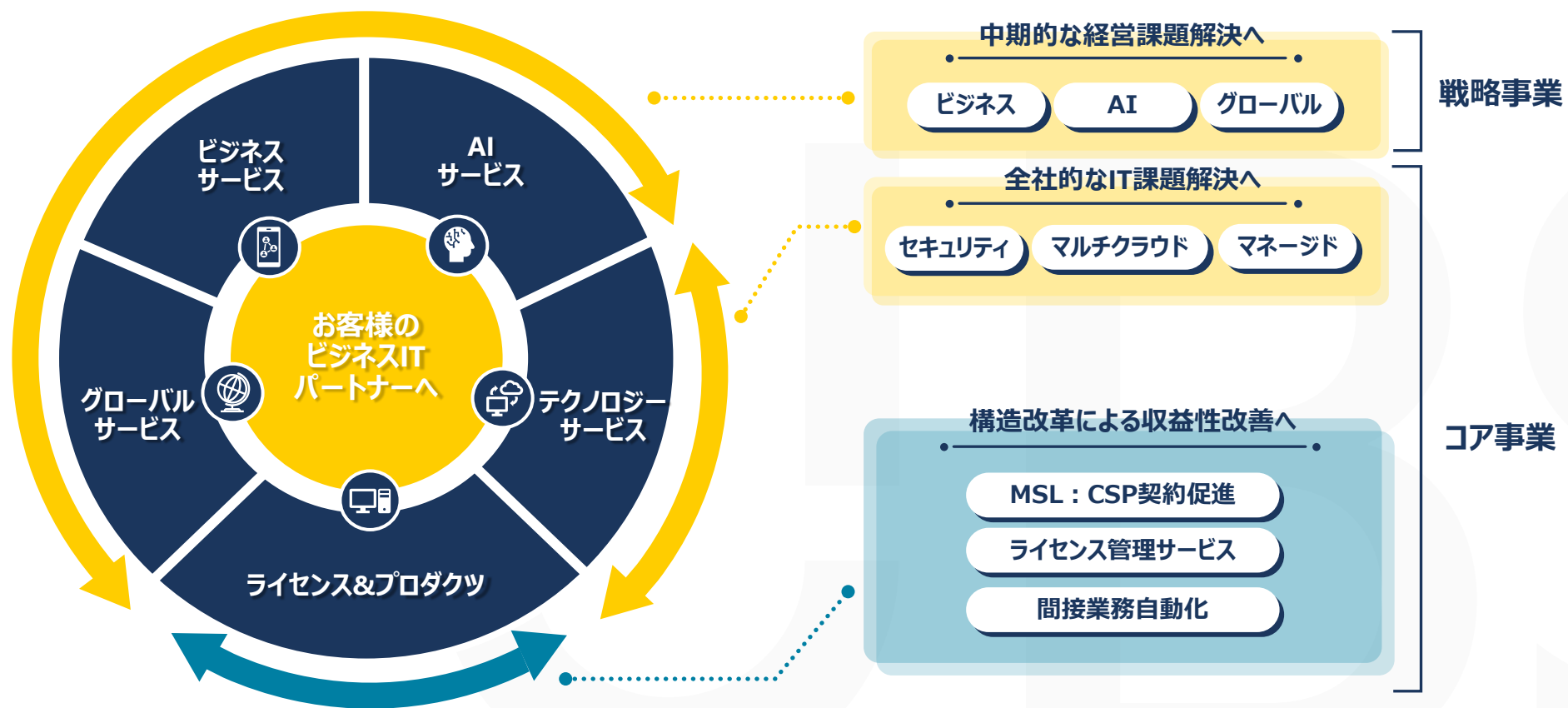
中期経営目標

エンジニアリングサービス（クラウドインテグレーション事業及びクラウドサービス事業）中心の利益成長にシフト
ライセンス取引は、付加価値のあるリカーリングビジネスへ



事業ポートフォリオの変革

ライセンス&プロダクツ(リセール)から、エンジニアリングサービスへ。
ビジネス・AI・グローバルを戦略事業と位置づけ、将来成長のドライバーとして強化



成長サイクルモデル

事業投資



- ▶ ビジネス創出につながる人とオフィス環境への投資
- ▶ 全社員のマルチAIモデル活用（リアルショーケース）

社員・株主への還元



- ▶ 社員の待遇改善
（人事制度刷新、報酬水準の見直し）
- ▶ 増配継続

JBSの 成長サイクル



事業成長



- ▶ 顧客深耕による案件創出
- ▶ マルチAIモデルパートナーとしての事業領域拡張
- ▶ 過去最高益の更新

* 2024年9月期の年間配当金：25円（実績）
2026年9月期の年間配当金：50円（修正予想）

* 2024年9月期の営業利益：45億円（実績）
2026年9月期の営業利益：91億円（修正予想）



優れたテクノロジーを、親しみやすく